

来ませんか

発達障害のある子の 学校教育を考える

～ 小中学校から高校へ
すべての子どもの「学びたい」を実現するために ～

2018年4月より高等学校における通級指導が
運用開始となります。

高等学校は、義務教育終了後のほぼ全ての生徒が、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付けるとともに、自立に向けた準備期間を提供することのできる最後の教育機関であり、将来将来の我が国の発展のためにも高等学校が果たすべき役割と責任は極めて重い。

(高等学校における特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議 報告 2016年3月31日)

小中学校では特別支援学級や通常学級に在籍して特別な支援を受けている子どもたちが増えています。高等学校での通級指導の運用開始を目の前にして彼らの高等学校進学と学習保障、さらには高卒後の進路保障について考えることは、本県のこれからの学校教育を展望する上でたいへん重要です。現場の教師、研究者、父母、様々な立場から思いを出し合います。



日時：2017年10月14日（土） 13：30～

場所：滋賀大学サテライト

内容：通級指導開始を視野に置きながら、高校入試、高校での単位取得、あるいは高卒後の進路保障について、シンポを行う。

